



河二敏雄さん



木村俊昭さん

白熱の5日間 終わる

12/17 地域資源活用人材育成セミナー最終日

地域資源を生かした先進事例を全5回で紹介する「地域資源活用人材育成セミナー」。第4回は12月8日、穂高総合支所で開催しました。講師は農林水産省企画官・木村俊昭さん。小樽市のまちおこしを成功に導いた実績があり、地域再生の助っ人として全国各地で活躍されています。木村さんはさまざまな事例を紹介しながら「大切なのはモチベーション（意欲）を上げて『やれる』と思うこと。やり続ければ失敗はない」と情熱と行動力を持つことが大切だと語りました。



最終回は12月17日、(有)かわに代表・河二敏雄さんを迎えて開催しました。河二さんは金沢のサツマイモ「五郎島金時」の生産者。加工商品も手掛け、サツマイモのブランド化に成功しました。そんな河二さんも事業が立ち上がるまでは何度も挫折を経験したと話します。「30代は失敗のためにやってきたようなもの。けれども、それが自分の力になった」と経験に胸を張ります。「若い人には1秒でも早く失敗せよ、ただし後ろ向きの失敗はするな」と、後進の育成について力強く語りました。

初恋の相手は？ 冬ロケ快調

12/14 連続テレビ小説「おひさま」2次ロケ

連続テレビ小説「おひさま」第2次ロケが松本市、安曇野市などで行われました。

12月14日には、井上真央さんが演じるヒロイン役が、淡い恋心を抱く兄の同級生に手を引かれながら松本城を登るシーンなどが収録されました。この日の出演は、親友役の満島ひかりさんとマイコさん、兄役の田中圭さん、初恋相手の役の金子ノブアキさん。同世代の息の合った様子を見せていました。

記者会見で井上さんは、「ロケ初日に雪が降るなど信州は寒いですが、地元の皆さんが温かく迎え入れてくれ、それが励みになっています」と撮影現場の雰囲気感謝していました。

2次ロケは12月9日から17日までの9日間。本日も、市内でロケが行われる予定です。



高校演劇部 初の合同発表会

12/10 2月13日開催に向け 初打ち合わせ

市内にある4つの高校の演劇部が2月13日、豊科公民館で合同発表会を開催します。4校の合同発表会は初の試み。明科高校、豊科高校、穂高商業高校、南安曇農業高校の演劇部員26人が、心を一つに合わせ、準備を進めています。

発表会は、豊科公民館を練習場所にしてきた高校が「せっかくなら市内全校でやろう」と他校にも参加を呼びかけて実現したものです。

12月10日には初の打ち合わせが行われ、部員たちが自己紹介を終えたのち、役割分担や舞台装置の扱い方などの確認をしました。

豊科高校2年の澤野葵さんは、「初めて作る舞台。それぞれの高校の個性を見てほしい」と当日の見どころを話しています。

当日は入場無料。午後1時の開演です。プログラムなどの詳細は豊科高校の篠田先生（☎72・2151）まで。

十返舎一九を熱演

12/5 ふるさとCM大賞 最終選考会

ふるさとを30秒でPRする「ふるさとCM大賞（ABN主催）」の最終選考会が12月5日、長野若里文化ホールで開かれ、安曇野ビデオクラブと押野一座による「十返舎一九の安曇野道中記」が見事演技賞を獲得しました。この作品は猛暑となった昨夏に撮影。皆が納得のいくまでリハーサルを繰り返すなど、メンバーの信頼関係が功を奏しました。同クラブ副会長の山口裕さん（堀金烏川）は、「1人では何もできませんでした。人とのつながりがあったからできた作品です」と制作を振り返っていました。



中谷将さん モロッコに派遣

12/14 JICA 青年海外協力隊表敬訪問

国際協力機構（JICA）のボランティアとして、モロッコに派遣される中谷将さん（25・豊科）が12月14日、市長を訪ね出発前のあいさつをしました。「まずは多くの人とかかわり合い、アイデアを取り入れていきたい」と話す中谷さん。同国漁業省の支所で漁業組合の運営を支援します。派遣期間は2年。大学院で都市計画を学んできた経験から、モロッコの街並みについても学んで帰るつもりです。これまでに市内からは36人のJICAボランティアが派遣され、開発途上国の支援を行っています。